

## 第2章 地域から取り組む地球環境の保全

### 第1節 地球温暖化対策の推進

#### ◎現状と課題

平成27年度の県内の温室効果ガス排出量は、10,404千t-CO<sub>2</sub>(二酸化炭素(以下「CO<sub>2</sub>」という。)換算)であり、森林吸収量147千t-CO<sub>2</sub>を差し引くと10,257千t-CO<sub>2</sub>となり、代替フロン等4ガスの排出量が増加した一方で、温室効果ガス排出量の大半を占めるCO<sub>2</sub>の排出量が減少したことにより、基準年度(平成24年度)より7.0%減少しました。平成28年度は、森林吸収量は109千t-CO<sub>2</sub>であり、温室効果ガス排出量(暫定値)10,380千t-CO<sub>2</sub>から差し引くと10,271千t-CO<sub>2</sub>となり、代替フロン等4ガスの排出量は増加した一方で、CO<sub>2</sub>の排出量が減少したことにより、基準年度より6.9%減少しています。

地球環境の保全に地域から取り組むために、省エネルギーの取組みをより一層進めるとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図る必要があります。

また、CO<sub>2</sub>の吸収源である森林整備等を確実に実施していく必要があります。

#### 香川県の温室効果ガス排出量の内訳及び比較

単位:千t-CO<sub>2</sub>

	2012 (H24) 基準年度	2015 (H27)	2016 (H28) (暫定値)	基準年度比 増減	前年度比 増減	シェア (2016)
二酸化炭素	10,444	9,746	9,710	-7.0%	-0.4%	93.6%
産業部門	3,674	3,703	3,703	0.8%	0.0%	35.7%
業務部門	2,293	2,200	2,200	-4.1%	0.0%	21.2%
家庭部門	2,138	1,662	1,661	-22.3%	-0.1%	16.0%
運輸部門	2,022	1,918	1,925	-4.8%	0.3%	18.5%
エネルギー転換部門	121	80	84	-30.5%	4.7%	0.8%
工業プロセス	2	2	2	5.7%	-0.9%	0.0%
廃棄物	194	182	136	-29.9%	-25.2%	1.3%
メタン	137	143	140	2.2%	-1.7%	1.4%
一酸化二窒素	192	189	178	-7.2%	-5.9%	1.7%
代替フロン等4ガス	254	326	351	38.2%	7.7%	3.4%
合計	11,027	10,404	10,380	-5.9%	-0.2%	100.0%

※桁数処理の関係で合計・比率等の計算が合わない場合があります。

※代替フロン等4ガス：ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)、六ふっ化硫黄(SF<sub>6</sub>)、三ふっ化窒素(NF<sub>3</sub>)

※平成28(2016)年度(暫定値)の算定に用いた各種統計等の年報について、暫定値の算出時点で平成28(2016)年度の値が未公表のものは平成27(2015)年度の値を代用しています。そのため、今回とりまとめた平成28(2016)年度(暫定値)と、平成28(2016)年度確報値との間で差異が生じる可能性があります。

※エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量の算定については、算定に使用している統計の推計方法の変更等に伴い、算定方法の見直しを行い、過去に遡って再計算を行ったため、平成29年度に公表した平成25(2013)年度以降の確定値と差異が生じています。

## ◎具体的な取組み

### 1 省エネルギー行動の拡大

#### ア) 環境にやさしいライフスタイル・ビジネススタイルの推進

##### ① 省エネルギー行動等促進事業

各家庭、各企業・事業所、各団体など県民全体の省エネルギー行動に取り組む意識が醸成され、省エネルギー行動が県民全体の日常生活・事業活動の中に自然に組み込まれることを目的として、省エネ県民運動「省エネみらいプロジェクトかがわ」を展開させ、関係機関と連携し、年間を通じた普及啓発を行いました。また、スポーツを通じて環境の大切さを啓発する機会として、カマタマーレ讃岐などと連携し「エコ啓発DAY」を開催しました。

- ▶ エコドライブ講習会開催数 (H30 年度) : 1 回
- ▶ 事業所向けエコドライブ出張セミナー開催数 (H30 年度) : 3 回
- ▶ ムーンナイト SHIKOKU 参加施設数 (H30 年度) : 275 施設
- ▶ 気候変動講演会参加者数 (H30 年度) : 88 人

##### ② 家庭の排出量「見える化」推進事業

家庭や事業所での省エネ・節電の取組みの効果を「見える化」するため、ウェブサイト上に「かがわ省エネ節電所」を開設しました。

登録件数を拡大するため、キャンペーンの開催や各種広報媒体での情報発信のほか、事業所に対しても、登録および従業員の皆様への周知を依頼しました。

- ▶ かがわ省エネ節電所参加状況 (H30 年度末) : 5,144 世帯、517 事業所

##### ③ クールシェアかがわの実施

暑くなる夏に、快適に過ごせる場所に出かけて、家庭の消費電力の削減につなげるため、公共施設や商業施設などで「クールシェアかがわ」に取り組みました。

- ▶ クールシェア実施か所数 (H30 年度) : 117 か所

##### ④ 事業者計画制度運用事業

「香川県生活環境の保全に関する条例」に基づき、年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所を県内に保有する事業者等を対象とした地球温暖化対策計画制度の適正な運用を図りました。

- ▶ 対象事業者数 (H30 年度末) : 92 社
- ▶ 現地調査実施事業所数 (H30 年度) : 12 事業所

##### ⑤ 省エネ講座開催事業

各事業所で有効な温暖化対策の方向性を知ること、より効果的な取組みにつなげることを目的に、省エネルギーの手法や効果を解説する講座を開催しました。

- ▶ 省エネ講座 (H30 年度) : 3 回 (参加者 : 延べ 221 人)

#### イ) 省エネ型設備・機器等の導入促進

##### ① ぐらしの省エネ新エネ設備機器普及促進事業

イベント会場等 (ウッドィフェスティバル、CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>削減フェスティバル in かがわ など) において、省エネ相談会を開催したほか、ホームページ「知りたい! おうちの中の省エネ&新エネ」を通じて、省エネ機器などに関する情報提供を行いました。

「香川県生活環境の保全に関する条例」に基づき、家電の売場面積 1,000 m<sup>2</sup> 以上の家電販売店に設置を義務付けている省エネ性能説明推進員などを通じて、適切な情報提供に努めました。

- ▶ 省エネ相談会相談件数（H30年度）：216件
- ▶ 省エネ性能説明推進員数（H30年度末）：21店舗、25名

**URL** 「知りたい！おうちの中の省エネ&新エネ」：

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyochikyukagawaeco/index.html>

## ② 中小企業等省エネ診断受診促進事業

事業所の省エネ対策を支援するため、(一財)省エネルギーセンターが実施する中小企業等を対象とした無料の省エネ診断について、経済団体等を通じた周知等により受診を促進しました。

- ▶ 省エネ診断受診件数（H30年度）：3件

## ③ 次世代自動車充電インフラ整備促進事業

電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）の普及促進やユーザーの利便性の向上を図るため、これらの車両に必要な充電設備（急速充電器）を瀬戸大橋記念公園駐車場に設置し、平成26年度から運用を開始しました。

充電インフラ整備やEV等の普及を促進するため、関係機関と連携を図りながら、国が行っている充電設備に対する補助事業や補助制度の周知に努めるとともに、ホームページで積極的に充電設備の設置やEV等の特徴等に関する情報発信を行いました。

- ▶ 電気自動車用充電器設置か所（H30年度末）：158か所

## 2 再生可能エネルギーの導入促進

### ア) 太陽光発電の導入促進

#### ① 住宅用太陽光発電設備導入促進事業

住宅用太陽光発電システムの設置に対し補助を行いました。

- ▶ 補助件数（H30年度）：1,232件

#### ② 県有施設太陽光発電設備整備事業

第1章第3節を参照。（23ページ）

#### ③ 香川県太陽光発電施設の設置等に関するガイドラインの策定

太陽光発電事業者が事業を実施するに当たり、事前に災害発生リスクや地域への影響等を適切に把握し、地域の理解を得ながら、太陽光発電施設を適正に設置・管理することにより、太陽光発電事業が地域と共生した事業となることを目的とする「香川県太陽光発電施設の設置等に関するガイドライン」を策定しました。

#### ④ メガソーラーの立地支援

メガソーラー事業の実施を計画する事業者に対して関係法令に基づく手続きを支援しました。

### イ) エネルギー源の多様化等の促進

#### ① 太陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入促進

小水力発電やバイオマスなど太陽光発電以外の再生可能エネルギーについては、経済性や技術開発の動向を踏まえ、先進事例を研究するとともに、各エネルギーの種類や特徴を情報提供するなど、導入の促進に努めました。

#### ② 燃料電池自動車等普及促進事業

県内において環境負荷の少ない燃料電池自動車の普及を図ることにより地球温暖化対策を推進するため、平成28年度に整備された移動式水素ステーションの運営事業者や水素供給事業者、燃料電池自

動車を取り扱うディーラーと連携し、水素ステーションの見学会や燃料電池自動車の試乗会の実施、小学生を対象とした水素エネルギー教室の開催など、水素エネルギーの普及啓発のための取組みを行いました。

### ③ 再生可能エネルギーの導入環境づくりの推進

県内のメガソーラーに関する情報収集を図るとともに、本県におけるメガソーラーの立地に当たった各種行政手続などについて総合的な情報提供を行いました。

## 3 低炭素型まちづくりの推進

### ア) 集約型のまちづくりの推進

#### ① 集約型都市構造の実現に向けた取組み

「集約型都市構造の実現に向けたまちづくり基本方針」に基づき、移動に徒歩や公共交通機関が利用できる集約型のまちづくりの実現に向け、市町に対して、立地適正化計画策定に関する情報提供や助言を行いました。

### イ) 交通環境の整備の推進

#### ① 地域公共交通確保維持改善事業等

利便性と結節性に優れた県全体の地域公共交通ネットワークの構築に向けて、鉄道や路線バス、離島航路の確保・維持、改善などに取り組みました。

#### ② 交通環境の整備

- 公共交通機関が通行する道路については、円滑な交通が図られるよう通行環境の維持に努めました。また、徒歩・自転車の走行空間を確保するため、自転車歩行者道等の整備を進めるとともに、自転車の通行位置を明示する路面標示を整備しました。
- 主要渋滞箇所など渋滞が課題となっている交差点について、右折車線の確保や交差点のコンパクト化など交差点改良を行いました。
- 高度化した交通管制システムにより、適正な交通流・交通量の誘導および分散を行うとともに、ドライバーに対し、交通情報板や光ビーコンなどを活用して、渋滞等の交通情報を迅速かつ的確に提供しました。

## 4 森林整備と都市緑化の推進

### ア) 森林整備の推進

#### ① 造林事業

森林によるCO<sub>2</sub>吸収量を増やすため、間伐などの森林整備を行いました。

森林整備の実績面積（平成30年度）（単位：ha）

種別	植栽	下刈	除間伐	枝打ち	計
造林	26	222	168	4	420
治山	6	60	60	0	126
その他	17	61	264	0	342
合計	49	343	492	4	888

※その他には、県営林、水源林造林、自力造林を含む。  
その他の除間伐には、松くい虫駆除の衛生伐を含む。

資料：香川県みどり整備課

② CO<sub>2</sub>吸収量認証制度

植栽、下刈、除間伐などの森林整備等の効果をCO<sub>2</sub>吸収量の数値で認証する制度を創設し（平成20年度）、企業等による森林整備の拡大を図ることにより、県内森林での地球温暖化防止対策を推進しました。

▶ 認証実績（H30年度）：8件、24,675kg-CO<sub>2</sub>

## イ) 都市緑化の推進

## ① 都市公園の総合的な整備と保全

都市公園は都市公園法に基づき整備する公の施設であり、スポーツ、レクリエーションなどの場として、また、地震など災害時の避難地、復旧活動拠点などとして多様な利用ができる都市施設です。

## 都市公園の現況

	平成28年度末		平成29年度末	
	都市公園面積 (ha)	1人当たり面積 (㎡/人)	都市公園面積 (ha)	1人当たり面積 (㎡/人)
香川県	1,608	18.9	1,609	19.0
全 国	125,423	10.4	126,332	10.5

※1人当たり面積は、都市公園面積を都市計画区域内人口で除したもの

資料：香川県都市計画課

## ② 県営都市公園の維持管理

県営都市公園で、樹木などの維持管理などを行いました。

## 県営都市公園の設置状況

区 分	公 園 名	位 置
総合公園	瀬戸大橋記念公園	坂出市
運動公園	香川県総合運動公園	高松市
	香川県立丸亀競技場	丸亀市
広域公園	さぬき空港公園	高松市、綾川町
歴史公園	栗林公園	高松市

区 分	公 園 名	位 置
風 致 公 園	琴林公園、亀鶴公園	さぬき市
	桃陵公園	多度津町
	琴平公園	琴平町
	琴弾公園	観音寺市
緩衝緑地	坂出緩衝緑地	坂出市
都 市 緑 地	香東川公園	高松市
	土器川公園	丸亀市

資料：香川県都市計画課

## 5 CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス対策の推進

### ① フロン類およびフロン類を使用した機器の管理の適正化

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」(フロン排出抑制法)が平成27年4月1日から施行され、第一種フロン類充填回収業者による適切なフロン類の充填・回収に加え、フロン類を使用した業務用冷凍空調機器の管理者(使用者)に対しても、定期点検等を義務付ける等の講ずべき措置が定められ、フロン類の管理をより適正に行うこととされました。

県では、説明会の開催やホームページ、周知用チラシの配布等により制度の周知徹底を図るとともに、充填回収業者や機器の管理者に対して、立入検査等を実施し、法令遵守の指導を行いました。

平成29年度の第一種フロン類充填回収業者による業務用冷凍空調機器等からのフロン類の回収量は次表のとおりです。フロン類の種類別にみると、HCFCの回収量が最も多く、次いで代替フロンのHFC、最後に生産が全廃されているCFCとなっています。

- ▶ 第一種フロン類充填回収業者数 (H31.4.1現在) : 465 業者
- ▶ 立入指導実施件数 (H30年度) : 第一種フロン類充填回収業者 23 件  
第一種特定製品管理者 14 件

#### 業務用冷凍空調機器からのフロン類の回収量等 (平成29年度実績分)

	CFC		HCFC		HFC		合計	
	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
回収した業務用冷凍空調機器の台数(台)	5	135	545	3,427	2,139	7,004	2,689	10,566
回収した量(kg)	0	300	3,383	19,072	7,389	7,385	10,772	26,757
平成29年度当初の保管量(kg)	19	198	328	1,010	699	725	1,045	1,933
フロン類再生業者に引き渡された量(kg)	0	0	11	59	6	89	17	148
フロン類破壊業者に引き渡された量(kg)	0	110	2,034	13,782	5,980	6,128	8,014	20,020
知事が認定した者に引き渡された量(kg)	0	0	1,320	3,363	1,099	1,476	2,419	4,839
充填回収業者が再生し充填した量(kg)	0	103	51	2,086	222	59	273	2,248
平成29年度末の保管量(kg)	19	284	294	793	782	359	1,095	1,435

※四捨五入しているか所があるため、合計値が一致しない場合がある。

資料：香川県環境管理課

### ② フロンガス濃度実態調査

大気環境中のフロンガス濃度のモニタリング調査を実施しました。

#### フロンガス濃度実態調査結果 (平成30年度)

調査地点	平均値 (ppb)				
	フロン11	フロン12	フロン22	フロン113	フロン134a
坂出市	0.26	0.54	0.34	0.064	0.16

資料：香川県環境管理課